

第1808号

2016年8月7日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

## 文教厚生常任委員会が行政視察

根室市議会・文教厚生常任委員会（鈴木一彦委員長）は、7月25日から28日にかけて、『子育て支援』をテーマに行政視察を行いました。

今期の文教厚生常任委員会は、『少子高齢化対策』を重要テーマに位置づけて調査研究、議論などを行うこととしています。今回の視察も、テーマに沿って、『子育て支援』ですぐれた施策を展開している2つの自治体を選びました。

岡山県・奈義町  
『子育て応援宣言』



奈義町は岡山県東北部に位置しています。『平成の大合併』のときには住

民投票を行い、『単独町制』を決定。自衛隊日本原駐屯地と広大な演習場を抱えています。面積は69.52km<sup>2</sup>（東西約9km南北10km）、人口6,182人。奈義町では、人口減少、少子高齢化対策として、定住促進のための住宅施策、就労の場の確保施策、子育て支援施策に取り組み、今後も現在の人口数を維持することを目標に定めました。

住宅施策では分譲地の整備、賃貸住宅の整備（特に若者向け）を行い、入居率は100%。就労施策では企業誘致に力を入れ、19の企業を誘致することに成功。子育て支援では高校生までの医療費無料化のほか様々な経済的支援を充実させました。その結果、平成26年には合計特殊出生率2.81を達成し、現在も2以上を維持

町では合計特殊出生率2.81達成の力を『安心感』と述べます。つまり、『子育ての負担が軽くなって安心』（町が出生から大学卒業まで経済的支援）『子育ての悩み相談ができて安心』（チャイルドホームを中心に様々な人と）『町のみんなが子育てを応援してくれて安心』（登下校の見守り、学校支援ボランティアなど）『住むところがあって安心』（若者住宅、グリーンビレッジ奈義など）などです。また、『奈義町子育て応援宣言』を明文化することによって地域全体で支える体制を構築しようとしています。

島根県・邑南町

『日本一の子育て村構想』

邑南町は、島根県中央部の山間にある自然豊かな町です。『平成の大合併』で2町1村が合併して誕生。面積は419.29km<sup>2</sup>（山林が86%）、人口11,288人。

邑南町では人口の「右肩下がり」に危機を感じ、



『攻め（A級グルメ構想）と守り（日本一の子育て村）の定住プロジェクト』に取り組みます。その結果、平成26年に合計特殊出生率2.07を達成、人口の社会動態が3年連続で増加しています。

子育て支援の目玉施策は、中学卒業まで医療費が無料・保育料第2子目以降完全無料に加え安心な医療体制（24時間救急受付、ドクターヘリによる救急対応）、病児保育の実施、学校図書室の充実、地元県立高校への支援（保護者の負担軽減と生徒への学習支援）などを実施しています。

子育て村推進本部の評価によると、経済的な負担軽減の制度は充分とし

次は、『子育て村構想が掲げる理念「地域で子育て」を実践、日本一の子育て村を住民が実感できる町に』に取り組んでいます。具体的には、子育て支援ポイント付与制度「子育てサーブス」を利用するだけでポイントが貯まり、貯まったポイントは1ポイント1円として町内のお店で買い物に利用できるという制度と、「地域学校」の実践「地域の力を結集し、身近な素材を生かして、地域の思いや願いを、体験活動を通して子どもたちに伝えていく事業であり、町内の12地区ごとにある公民館で取り組まれています。

根室市も、中学卒業までの医療費無料化や給食費の援助など、子育て支援が充実しつつありますが、今回の視察を参考に、さらなる制度の充実と、地域全体で子育てを支える取り組みについて、常任委員会としても研究を深め、行政に提案していきたいと考えています。